
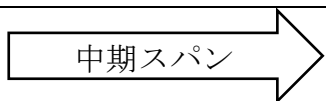
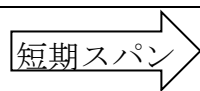


＜307＞ 観点「主体的に学習に取り組む態度」を学習評価するエッセンスは？

観点「主体的に学習に取り組む態度」は、学習活動で育った姿が見えにくいので、客観的に学習評価するのには、難しさがあります。学習評価するために、「見える化」するエッセンス例を示してみます。エッセンスを参考にして、自分がねらう学力が読み取れる学習評価を工夫してはいかがでしょうか！

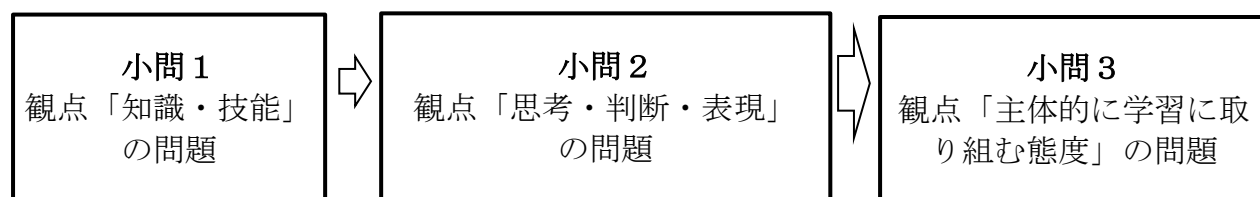
エッセンスー１：学習評価する時期を知って工夫する

観点「主体的に学習に取り組む態度」は、下に示すような他の観点より長いスパンで育つため、学習評価は題材学習の最後、または学期の終末にする必要があります。

「学力の３要素」	育つスパン	「評価の３観点」で評価する時期
技術を工夫し創造する実践的な態度	 長期スパン	長期中、題材学習の終末時点や学期末に学習評価する
思考力・判断力・表現力等	 中期スパン	中期で、題材完成後に学習評価する
知識及び技能	 短期スパン	短期で、小テストは可能だが、まとめて終末に学習評価する

エッセンスー２：「学力の３要素」と関連づけ「見える化」して学習評価を工夫する例

観点「主体的に学習に取り組む態度」は、「技術を工夫し創造する実践的な態度」に必要な根拠となる「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」の問題と関連づけて「見える化」して学習評価するようにします。そのため、大きな課題の大問に対し、次に示すような観点毎に小問を設ける工夫をはいかがでしょうか！



エッセンスー３：5W1Hで「実践的な態度」を限定して「見える化」して学習評価を工夫する

下に示すように、実践する態度を5W1Hに限定して工夫することで「見える化」して、学習評価しやすくなります。

Who	だれが	あなただったら、社会人だった
When	いつ	将来、現在と限定する
Where	どこで	自分の生活・地域社会の生活・社会生活で
What	何を	学んだ内容・学んだ内容を応用転移した内容を
Why	なんのため（目的）	自分・地域社会・社会の問題解決のため
How	どのように手段や方法	どう具体的に実践するか